

令和 8 年 度

学習の手引き

各教科の学び方

国語

数学

社会

理科

英語

音楽

美術

保健体育

技術・家庭

徳島市北井上中学校

国語科 学習の手引き

1. はじめに

国語科では、社会生活に必要となる、相手の話を正しく聞き取る「聞く」こと、自分の考えを言葉で伝える「話す」こと、「書く」こと、「読む」こと、そしてそれらすべての基礎となる「語彙力（ごいりょく）」といった「言葉に関する内容」を学んでいきます。

「話す・聞く」「読む」「書く」といったことを、生活の様々な場面で意識し、総合的に力を身に付けることができるようにしていきましょう。

2. 授業への取り組み方

- (1) 準備物（教科書・国語のワーク・ファイル・漢字ノート）を忘れずに授業に臨みましょう。
- (2) 次の授業内容を確認して、家でその文章を読んだり、ワークで関連する問題を解いたりしておくと、授業中での活動にスムーズに取り組むことができます。
- (3) 文章を読むときには、文章の種類に応じて、読み方の違いを意識するようにしましょう。そうすることで、心情（小説）や構成（説明文）を捉える力がつきます。
- (4) 水曜日には「阿波っ子タイムズ新聞」の作文を書きます。作文で選んだ記事以外の内容も読んでみましょう。社会や季節の話題にも目を向け、自分の視野を広げることが大切です。友人や家族との話の話題にするのも◎。
- (5) 授業の初めに設定する「漢字タイム」「読解タイム」など、授業での『静』の活動にも積極的に取り組みましょう。『動』の活動に必要な基礎の力を身につけていきましょう。

3. 家庭学習のしかた

- (1) 学習した範囲や、次の時間に進む部分の文章をすらすら読めるまで、音読をしましょう。（先に読むことで授業の理解度アップ。音読の効果は高いです。）
- (2) 時間を計ってワークやプリントの問題を解きましょう。
入試国語は “ 時間勝負！！ ”（大問一つ10分～15分。作文は15分以内）
- (3) 小説、説明文、古文など「読むこと」に関する問題は、教科書以外の問題にも積極的に取り組みましょう。（希望者には「スペシャルプリント」を渡します）
- (4) さまざまなジャンルの本を読んで、多くの作者や筆者の考え方に触れるようにしましょう。
- (5) 漢字や文法は事前に学習して覚えていないと解けない暗記分野です。
予習・復習必須。

4. ICT機器利用の例

- (1) AIドリル（「キュビナ」「ミライシード」）では、漢字や語句の予習・復習が多くできます。朝の学習や長期休みに継続して繰り返し取り組み、学びを深めましょう。
- (2) 教科書や国語のワークについているQRコードを読み取ることで、音読音声や学習のポイントなど、勉強に役立つさまざまな機能を使うことができます。試してみてください。
- (3) 学校で取り組んだものと同じ文章や古典を「NHK for school」の番組で見ると、自分でより深く学ぶことができます。何回でも繰り返し見てみましょう。
 - ・「読み書きのツボ」「おはなしのくにクラシック」
（この2つは5・6年生用ですが、中学生にも十分な内容です。）
 - ・「10minボックス古文・漢文」
 - ・「10minボックス現代文」

数学科 学習の手引き

1. 数学の世界へようこそ

数学は、数千年も前から、長い時間をかけて、まとめられてきたものです。数学はさまざまな時代に研究され、人々の生活や科学の進歩のために役立ってきました。これからの時代を担っていくみなさんには、いろいろな知識や経験が必要になってきます。数学もそのひとつです。みなさんも、これから学ぶ数学を、いろいろな場面で役立てられるように努力してください。

参考のために、「授業への取り組み」、「家庭学習のしかた」、「テストの考え方」について書いておきます。これからの学習に役立ててくれたらと思います。

2. 授業への取り組み

「授業に真剣に取り組む」ことは、どの教科についても同じです。先生方の経験や豊富な知識から良いところを取り入れて、自分の力にしてほしいと思います。

そのためにも、

- ① 準備物の忘れ物がないようにしましょう。特に、定規やコンパス等を忘れることは厳禁です。定規とコンパスは、テストのときに必ず用意しなければいけない物なのでいつでも使えるように準備しておきましょう。
- ② ノートは、自分にとって「1番わかりやすい参考書」であってほしいと思います。そのためは、ただ黒板を写すのではなく、大事なことや間違えて訂正したところを色を変えて書いてみたり、間違いやすい問題には印をつけたりするなどの自分なりの工夫をしてみてください。勉強することは、自分にとって、どのように取り組むことがベストなのかを追求することです。ノートの取り方やまとめ方もそのひとつです。中学校3年間のなかで、自分にとってのベスト参考書を完成させましょう。
- ③ 分からないことをそのままにせず、先生に質問しましょう。小さいことでも積み重なると大きくなります。小さいうちに片付けましょう。

3. 家庭学習のしかた

「授業で学んだことを自分のペースに合わせて学習していく」家庭学習はとても大切な作業です。次のことを意識して取り組んでください。

- ① 毎日の復習は確実にしましょう。タブレットの「ミライシード」を使ってもOKです。予習については、余裕があればしましょう。
- ② 宿題は、基礎・基本の定着をはかるために、先生方が出されるものです。その意義を考えて、必ず自分の力で、その日のうちに、取り組みましょう。
- ③ 数学の基本は計算する力です。毎日、少しずつで構いませんので、計算問題に取り組んでほしいと思います。教科書や「できる計算」、「数学演習」をノートに書いて何度も解いてみましょう。フセンも利用しましょう。
- ④ 知っているか知らないか、似たようなものを見たことがあるかないかが問題へのアプローチを左右します。したがって、時間の許す限り、多くの問題に取り組むことで「知る」ことや「見る」ことを大切にしてください。

4. テストの考え方

テストは、「良い点数をとること」だけが目的ではありません。自分がどこまで学習したことを理解できているのかを知ることにあります。毎日の学習を充実させていけば、テストのために特別な学習をする必要はありません。また、間違えた問題は、自分がまだ理解していないところを教えてくれるものです。間違えた問題を大切に、次のステップアップにつなげてください。自分の未来を明るくするために、テスト後のエラーレポートを欠かさないようにしましょう。

社会科 学習の手引き

1. 社会科の学習について

社会科を学ぶ目的は、社会科を学ぶことによって広い視野に立ち、社会に対する関心を高めるということにあります。そして、そこから物事を多角的・多面的に考え、直面する問題に対処できる日本の一公民としての資質を養い、激しく移り変わる国際社会に立派に生きていく人物となっていってほしいと考えています。

1, 2年生では週3時間の配当で地理的分野・歴史的分野の2つを、3年生では週4時間の配当で歴史的分野と公民的分野を学習していきます。よく社会科は覚えることが多くて苦手だという人がいますが、覚えることのみで終始してしまえば、社会はつまらない教科になってしまいます。世の中のことを専門的に勉強できることはとても楽しいことです。あせらずじっくりと学習を進めていきましょう。

2. 授業で準備するもの

歴史的分野－教科書 地図帳 ノート

地理的分野－教科書 地図帳 色鉛筆等の着色ができる道具 ノート

公民的分野－教科書 地図帳 ノート

※ 教材としては他に、徳島県の歴史読本、テストブックがありますが、これらは常時使いません。教科担当の先生の指示に従い使用します。

3. 学習の進め方

①授業は第一である－よく、社会科は後で勉強すれば大丈夫と、授業をおろそかにする人がいますが、後でやれば・・・とか、家でやれば・・・などと考えるのはとても効率の悪いことです。授業に集中して臨みましょう。最も多くのことを吸収できるのは授業です。

②ノートを大切に！－ノートは、地理・歴史ではそれぞれ1冊ずつ用意してください。きちんと取ったノートは最も素晴らしい自分だけの参考書となります。先生の板書を丸写しするだけでなく、ポイントを書き込んだり、図を書き込んだり等の工夫をして取るようにしましょう。復習する時、テスト勉強の時はきっと心強い味方となってくれることでしょう。

③実力は復習で付く－社会科では特に予習は必要ありません。そのかわり、復習は必ず授業があったその日のうちにやりましょう。授業の感触が残っているうちにもう一度確認しておくことは想像以上に頭に残るものなのです。

④テスト勉強は少なくとも2週間前から－最初の1週間は、テスト範囲の教科書を見直し、内容をまとめていきましょう。テスト1週間になったら問題練習に取り組み、弱点のチェックです。テスト前日は、統計や地図・資料の確認をしましょう。

理科 学習の手引き

1 なぜ理科の学習が大切なのか。

私たちは、壮大な自然の中で日々進化する科学技術とともに生活しています。めまぐるしく変化する環境の中で安全かつ便利な日常を過ごすためには、自然や科学に対する正しい知識と、自分で判断し行動する力が求められます。日常生活の中で身につけた感覚や知恵に「なぜ？」と疑問をもち、それを自ら解決しようとする姿勢が身につけば、より豊かな生活を送ることができます。

また、自分の健康を維持したり、自分の命を守るためにも基礎的な科学知識は必要です。例えば、病院で医師が説明してくれたことを、ある程度理解し、その重要性を判断できることが自分の命を救います。これも理科の力ですね。このように、理科はみなさんの生活を支える重要な力となっています。これが理科を学習する意義なのです。

2 学習のしかた(授業中)

- ① 理科は観察実験が命です。観察実験は、目的・方法・結果・考察の各過程で「どうしてその方法で調べられるのか」「どうしてその結論がいえるのか」といった根拠(理由)を常にはっきりさせて取り組もう。
- ② 板書を写すときは、色ペンなどを必要に応じて使用し、工夫して自分自身の参考書を作るつもりでノートをまとめる。
- ③ 配布されたプリント類は、ファイルに綴じておく。
- ④ 課題や宿題は、ていねいに取り組み、提出物は必ず出す。

3 家庭学習のしかた

- ① 「理科ノート」「探究の理科」はその日に授業で進んだ所をやり、わからないところは、次の日に質問するように心がけよう。
- ② 教科書の太字の重要用語や図、グラフは重要です。しっかり理解して重要用語は覚えるようにしましょう。
- ③ 観察・実験の方法、使用器具名や薬品名、実験結果や考察、注意事項を覚えよう。
- ④ 理科ではデータの計算も必要です。できるだけ多くの計算問題を解くようにしましょう。
- ⑤ 市販の問題集を使うときは単元の最初に付いている「重要事項整理」のページに目を通し、できるだけ覚えてから後の問題にチャレンジしよう。
- ⑥ 次の授業の学習内容を教科書を読んで予習し、疑問点をチェックしておこう。
- ⑦ 「ミライシード」等を使って、自分のレベルに合った復習をしよう。

4 テスト勉強へのアドバイス

- ① テスト範囲の教科書とノートや問題集の「重要事項整理」を一通り読み、基本事項を覚え直す。
- ② 観察実験に関して、「やり方」や「注意事項」「結果」「考察」をまとめる。
- ③ 問題を解いて、間違えたところを教科書やノートを見ながら自分で解説をつけ、一日おいてもう一度解いてみる。
- ④ 間違えた問題は、繰り返し同じ問題を解く。

英語科 学習の手引き

1. 先生からのメッセージ

英語を楽しみながら、勉強しましょう！国籍や人種などを越えて、世界中のたくさんの人と積極的にコミュニケーションできるようになりますよ。アメリカ、イギリス、カナダ、モンゴル、中国、香港、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、韓国など数え切れません。英語は世界共通語です。あらゆる国の人々との交流で、刺激を受け、人生が豊かになります。また最近では、仕事で日本を訪れたり、日本で生活したりしている外国人の方も増えてきました。インターネットも普及して、海外に行かなくても、今後は日本にいても英語を使う機会はますます増えていくでしょう。将来に向けての発進力を養うとともに、授業では英語を読んだり、聞いたりして理解し、それに反応して自分のアイデアや意見を書いたり、話したりすることで、友だちのことをさらに知ることができるチャンスにもなります。自分の思いや考えをどんどん伝え合いましょう！

では英語が使えるようになるには、どうすればよいでしょうか？英語は、スポーツと同じです。繰り返し書いたり、声に出したりしましょう。「努力を楽しく続けること！」「人（先生）のものまねを上手にしようとする姿勢」これが英語を得意科目にする秘訣です！！

2. 英語の勉強のしかた ※タブレットのデジタル教科書を効果的に活用しましょう！

授業前

- ① 休み時間の間に、次の英語セットを机の上に準備します。
(1) 教科書 (2) ノート (3) ファイル (4) ワーク (並びかえドリル)
(学年により「ペンマンシップ」「英語の総整理」「単語・連語集」など違いがあります。)
- ② チャイム3分前着席。授業に向けて準備をしましょう。

授業中

- ① 授業集中。新しいことは、授業中に覚えてしまうつもりで、真剣に！
- ② 友だち・先生と英語でどんどんやり取りをしましょう。学力アップまちがいなし！
- ③ 「間違い」からみんなが学べます。恥ずかしがらずに、自分の思いや考えを伝えましょう。
- ④ ペア活動を真剣に！ いっしょにがんばれる仲間になろう。Respect Each Other!
- ⑤ ワークシートは、必ずファイルにとじましょう。

家庭学習の仕方

- ① 宿題は必ずしましょう。
- ② 習った単語や本文を、スラスラと読めるようになりましょう。
- ③ 習った単語や本文を、書く練習をして、つづりを覚えましょう。
- ④ 習った教科書に該当するページのワークをしていきましょう。
ワークの答えあわせを1つ1つしていねいに。タブレットのアプリ「ボキャリス」(ワークからQRコードで読み込む)で単語復習やリスニングをしてみる。 **プラス1**
- ⑤ タブレットの「ミライシード」で学習したことを復習する。 **プラス2**
- ⑥ 「NHK基礎英語」「英語検定の問題」、さまざまなオンライン学習に挑戦してみましょう。 **プラス3**
- ⑦ ALTの先生に自ら話しかけ、英語が通じる感動を味わいましょう。 **プラス4**

音楽科 学習の手引き

1 音楽科の学習

ア 歌唱

歌詞の内容や曲想を感じながら、曲にふさわしい発声で合唱したり斉唱したりします。人の体は立派な楽器です。美しい音楽を奏でましょう。

イ 器楽

アルトリコーダーでいろいろなメロディを演奏したり、楽器を演奏したりします。見るだけ、聴くだけではなく実際に演奏してみることで新しい感動や発見があります。

ウ 創作

簡単なメロディを作ったり、メロディやリズムをアレンジしたりします。難しく考えずにやってみましょう。君も今日から作曲家！

エ 鑑賞

西洋音楽や日本の伝統的な音楽、世界の民族音楽などを幅広く鑑賞します。今まで触れたことのない音楽や時代背景、その国の文化も学習し、音楽の世界を広げましょう。

2 授業で準備するもの

- ◇中学生の音楽(1年生:1
2・3年生:2・3上下)
- ◇中学生の器楽(3年間使用)
- ◇ワーク(1・2年生はミュージックスタディ
3年生は音楽のハーモニー)
- ◇歌のミュージックランド(3年間使用)
- ◇アルトリコーダー(3年間使用)
- ◇音楽ファイル(3年間使用)
- ◇筆記用具

※音楽バッグに入れ、ロッカーで保管しましょう。

3 音楽科の目標

- ① 積極的に表現しよう！
 - ・はずかしがらず、あらゆる音楽表現を楽しもう。
- ② 階名(ドレミ…)が読めるようになろう！
 - ・楽譜が読めると、何百年も前の作曲家とつながることができます。
- ③ 音符や休符の種類や違いを知ろう！
 - ・音楽にはいくつかのルールがあります。一度覚えると一生物です。
- ④ 感性を養おう。
 - ・自分の感性に自信をもち、気持ちが動いた瞬間をキャッチしよう。

4 家庭学習

授業中の先生の話の思い出しながら、作曲者の思いに寄り添えるようにしましょう。(「なぜ、この記号を使った?」、「なぜ、この調にした?」など)また、生活の中にあふれている音や音楽に耳を傾けることが重要です。素晴らしい音楽は世代を超えて愛されています！

教育芸術社のHP(<https://www.kyogei.co.jp/>)には、教科書に載っている楽曲を鑑賞したり、音楽の調べ学習ができるコーナーがあります。是非、家庭学習にも活かしてください。

美術科 学習の手引き

1 学習する内容について

美術で学習する内容には、「 絵画・デザイン・工芸 」と三つの分野があり、各自で制作を通して表現します。また、「 鑑賞 」では、いろいろな作品を見て学ぶ分野となります。

絵や作品には、その人が何を感じ、何を考えているかが表われています。美術制作を通して、心で感じる喜びや楽しさを育てます。

2 学校での授業の受け方

- ① 準備物の確認をし、全てに名前を書きましょう。
 - ・ デザインセット (ポスターカラー・筆・パレット・水入れ・30センチのさし・ぞうきん)
 - ・ 2B, B, HBの鉛筆
 - ・ スケッチブック
- ② 授業開始までに教室に入り、5分前には準備を完了して席に着くことを、心がけましょう。
- ③ 授業の始めと、終りの挨拶は、大きな声でしましょう。
- ④ 終りの号令の後、作業でたゴミや紙くず、消しゴムのかすは、各自でゴミ箱に捨て、机と椅子を並べて退出しましょう。
- ⑤ 授業終了後、美術係は、次週の準備物について聞きに来て、クラスみんなに連絡をしてください。

3 家庭学習の仕方

- ① 美術館や博物館などに行き、多くの美術作品に出会ってみましょう。
- ② 新聞・テレビの美術番組から、今の旬の情報を仕入れてみましょう。
- ③ ファッション、テレビコマーシャル、街角のポスターからも情報を仕入れてみましょう。
- ④ 感動を形にできるよう、普段から心がけておきましょう。
- ⑤ 通学中の景色や空の色、風のおいなど、身近な場所にも感動はあります。見つけてみましょう。
- ⑥ オンライン美術館 | HASARD (wam-hasard.com)
URL : <https://wam-hasard.com/?msclkid=e40e7dd9cfed11ecb4a72a3b79612cf9>
検索方法…「オンライン ミュージアム 美術館」で検索

4 評価について

完成作品のみの評価でなく、完成までの過程を大切にします。
また、技術面だけでなく、授業態度も評価します。

5 最後に

完成までの途中経過では、発想・アイデア・表現方法について工夫する対話を大切に、できるだけ、想いを形にできるような時間を十分とりたいと思っています。そして、全員の完成を目指して、みんなで学習に取り組みましょう。

保健 体育科 学習の手引き

1. 先生からのメッセージ

保健体育科では、中学校だけではなく生涯を通じて心も体も健やかな生活を送るための学習を目指しています。

保健分野では、健康・安全について身近な出来事などを通じて学習します。その中で、自分の生き方や健康を保持増進できる力をつけていきます。

体育分野では、運動の楽しみ・運動技能の高め方・体力の向上のしかたなどについてコミュニケーションをとりながら高めていきましょう。

2. 学校での授業の受け方

- ・体操服(体育館シューズ・運動に適した靴)。
- ・保体教科書・ファイル(ワーク)、筆記用具は必要に応じて持ってきてください。
- ・授業始まりのチャイムまでに所定の場所に整列して、速やかに準備運動を行いましょ。
- ・先生からの話や指示があるときは、静かによく聞きましょう。体育では体を動かしたり、道具を使いますのできちんと指示を聞かないとけがや事故につながります。
- ・保健分野の授業は、期間を決めて集中的に行います。そのときには教科書・ワーク・筆記用具の準備を忘れないようにしましょう。

3. 家庭学習のしかた

授業で学習したり実践したりしたことを家庭でも実践できるようにしましょう。生活習慣は意識しないと身につけません。たとえば、いくら体を鍛えても朝食を抜いたり、栄養バランスが乱れているような食生活では、長続きしません。

予習することの大切さが言われていますが、保健体育科では、健康を取り扱ったTVを見たり、スポーツに関する本やインターネットサイト、動画を活用することができます。

また、いろいろなスポーツ観戦を通して、ルールや用語を学んだり、運動の楽しさを感じたりすることも大切なことです。

技術・家庭科 学習の手引き

1 授業の受け方

技術・家庭科の目標は、自分の生活をよりよくすることです。自分の生活や社会の中から問題を見付け、それを解決するために学習したことを活かして生活に役立てることが大切です。よりよい生活の実現に向けて、基礎的な知識と技能をしっかりと身に付けましょう。

- 授業の準備物を忘れない。
- 提出物は期限を守る。
- 安全に配慮して作業を行う。

2 家庭学習の方法

[技術]

- 日常生活で問題点を探し、解決する技術について考える。
- 授業で学んだことを実践する。

[家庭]

- 自分の身近な生活の中の問題を見付け、解決方法を考える習慣をつける。
- 料理・縫いもの・買い物・洗たくなど家の手伝いをして、段取りよく作業ができるように練習しておく。
- 授業中に学習した内容にとどまることなく、生活をよくしていこうとする態度を身に付けておく。

技術科:10min. ボックス テイクテック

<https://edu.web.nhk/school/gijutsu/taketech/>

家庭科:「家庭総合」(NHK高校講座)

<https://edu.web.nhk/kokokoza/library/tv/katei/>

3 テスト勉強の方法

[技術・家庭]

- テスト範囲の教科書をよく読み、内容をしっかり理解する。特に、授業中に示した大事な箇所をしっかりと確認しておく。
- テスト範囲の技術・家庭ノートの記述内容をしっかり理解し覚える。
- 実習中に説明した内容・製作方法・順序など「なぜ、そうするのか。」を考えながら理解する。